



新機能および変更された機能

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースまでのこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。

Cisco APIC のリリースバージョン	特長	説明
4.2(3)	ストップ CRC エラー	<p>CRC エラーが次のカテゴリに分類されるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• Stomped CRC エラー : カットスルー スイッチングされた破損フレームです。• CRC エラー : ローカルでドロップされた破損フレームです。 <p>詳細については、「CRC およびストップ CRC エラーカウンターの表示」を参照してください。</p>

Cisco APICのリリースバージョン	特長	説明
4.2(1)	新しい avread コマンドが追加されました。このコマンドは、 acidiag avread コマンドと同じ情報を表形式で提供します。	acidiag コマンド
	クラスタの正常性を確認する cluster_health コマンドが追加されました。	CLI を使用した Cisco APIC クラスタの確認
	スイッチ検出の問題をトラブルシューティングするために、 show discoveryissues コマンドが追加されました。	スイッチ検出の問題のトラブルシューティング
	このリリースでは、出力を人間が判読できる形式に変更するオプションが Embedded Logic Analyzer Module (ELAM) ツールに追加されました。これにより、重要な情報を迅速かつ効率的に見つけることができます。さらに、読みやすさを向上させるために、16進値が10進値に変換されている場合があります。下位互換性のために、ELAM の既存の使用方法はそのまま維持されます。	固定フォームファクタースイッチの簡易出力での ELAM レポートの生成 モジュラ スイッチの簡略簡略出力での ELAM レポートの生成

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。